

1. 木質バイオマス関連情報

■気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 58 回総会、3 月 13 日から 20 日にかけてスイスのインターラーケンで開催。各国政府の代表をはじめ、国連環境計画 (UNEP) や国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 事務局などの国際機関等から 650 名以上が出席。日本からは環境省、文科省、農水省、経産省、気象庁などから計 16 名が出席。総会では、2014 年の第 5 次評価報告書 (AR5) 統合報告書以来 9 年ぶりに、IPCC 第 6 次評価報告書 (AR6) 統合報告書の政策決定者向け要約 (SPM) が承認されるとともに、同報告書の本体が採択された。今回承認された AR6 統合報告書の SPM は日本語訳を作成し、4 月下旬をめどに環境省のウェブサイトで公開予定【環境省：2023/03/20】
https://www.env.go.jp/press/press_01347.html

■(株) PEO 技術士事務所 (兵庫)、木質バイオマスチップ乾燥システムを二種類開発。木質バイオマスチップ粒度選別乾燥システム「ドライドシーブ®」は、木質バイオマスチップの粒度選別と乾燥を同時に行うシステム。小型ガス化発電装置のチップ乾燥に最適で、50%wet のチップを 10%wet 以下にまで乾燥させられる。処理能力は 10%wet ベースで 250kg/h、125kg/h、65kg/h の三タイプ。P16、P31、P45 など要望のチップサイズに分別が可能。同社と北陽実業 (株) (長野) が共同で開発。もう一つの木質バイオマスチップ搬送乾燥システム「トップローダー方式によるフロア乾燥システム」は、チップを熊手型のアームで入口側から出口側に搬送する過程で床下から温風を送り、乾燥させるもので、チップサイロと兼用可能。50%wet のチップを 10~25%wet まで乾燥させることができ、処理能力は 50%wet ベースで 1~8t/h。こちらは同社と NPO 法人九州バイオマスフォーラム (熊本) が共同で開発しており、既に 2024 年度、熊本県内に導入することが決まっている【OSR No.554：2023/03/22、(株) PEO 技術士事務所】
<https://peobio.com/%e6%9c%a8%e8%b3%aa%e3%83%90%e3%82%a4%e3%82%aa%e3%83%9e%e3%82%b9%e3%83%81%e3%83%83%e3%83%97%e4%b9%be%e7%87%a5%e3%82%b7%e3%82%b9%e3%83%86%e3%83%a0/>

■丸紅 (株) (東京)、米国で再生可能燃料事業の開発を手がける Green Rock Energy Partners, LLC との共同開発会社が運営する、米国インディアナ州レイノルズの Bio Town Biogas LLC を通じ、乳牛排せつ物由来のバイオメタン生産・販売事業を開始。近隣の提携酪農家から約 23,000 頭分の乳牛排せつ物を適切に収集し、嫌気性消化を行うことでバイオガスを回収。回収したバイオガスを精製してバイオメタンを生産し、CNG (圧縮天然ガス) 車向けの燃料として使用。本来使用されるはずだった化石燃料由来の CNG の使用量削減で温室効果ガス排出抑制に貢献したとして、米国の制度における環境クレジットを獲得する予定【丸紅 (株)：2023/03/23】
<https://www.marubeni.com/jp/news/2023/release/00035.html>

■(株) IHI (東京)、他社製ボイラを使う海外の石炭火力発電所を対象に、補修・改造工事や保守に関わる提案活動を強化へ。世界的な脱炭素化の潮流で石炭火力市場が縮小する中、バイオマスやアンモニアへの燃料転換で事業を成長させるため、他社製ボイラの需要も取り込みたい考え【電気新聞：2023/03/29】
<https://www.denkishimbun.com/archives/273157>

■京急グループの (株) 葉山マリーナー (神奈川) が、所有するマリーナ施設「葉山マリーナ」において 4 月 1 日よりすべての使用電力を社有林伐採木を一部に活用した CO₂ 排出量実質ゼロの再生可能エネルギー電力 (木質バイオマス由来) に切り替えると発表。京浜急行電鉄 (株) (神奈川) は、持続可能な社会を目指し、三浦半島に所有する都市近郊社有林を健全に管理する「みうらの森林 (もり) プロジェクト」を 2023 年 2 月から開始。伐採した木々は (株) タケエイグリーンリサイクル (神奈川) が運営する「横須賀バイオマス発電所 (発電出力 6,950kW)」で木質チップとして使用されている。葉山マリーナーはタケエイグリーンリサイクルと同グループの電力小売事業者「(株) タケエイでんき」(東京) より同発電所由来の環境価値 (トラッキング付 FIT 非化石証書) が付帯された電力を導入することで、電力由来の CO₂ 排出量を実質ゼロとする。この

取り組みを通じた CO₂排出量の年間削減効果は約 300t-CO₂相当。京急電鉄は 2023 年 5 月以降順次、列車の安全運行のため伐採する線路付近の樹木などを、同じく「横須賀バイオマス発電所」で木質バイオマス燃料として活用していく予定【京浜急行電鉄(株):2023/03/30】

<https://www.keikyu.co.jp/company/news/2022/20230330HP22161AK.html>

■佐賀県佐賀市と味の素(株)九州事業所(佐賀)が提携し、バイオマス発電開始へ。3月30日に事業開始式を実施。市と同事業所が2014年にバイオマス利活用に関する共同研究協定を締結し、計画を進めてきたもの。同事業所がアミノ酸を作る過程で出した汚泥や汚水などのバイオマス資源を、新設した圧送管を通じて諸富汚水中継ポンプ場に運び、既存の下水道管を通して市下水浄化センターに約500m³/日運ぶ。それを市下水浄化センターで発酵させ、発生したガスで発電。残った汚泥は処理して肥料にし、市民に販売する。市の事業費は消化ガス発電設備8台の導入など21億100万円。事業により同センターではCO₂を1,500t/年削減。同事業所では汚泥の乾燥処理が不要になるため、1,560t/年のCO₂を減らせる。7月から稼働予定の市衛生センターの新施設の活用を含めると、市下水浄化センターの電力自給率は現在の40%から58%に上がる見込みで、全国の下水浄化センターで上位の自給率に。バイオマス発電は4月中旬から本格的に始まる予定【佐賀新聞:2023/03/31、NHK NEWS WEB:2023/03/30】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/1012900>

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/saga/20230330/5080014209.html>

■日本アジア投資(株)(東京)、(株)長谷工コーポレーション(東京)、(株)BM エコモ(東京)、(株)レクスポート(神奈川)、JA 三井リース(株)(東京)の5社が、パワーエイド三重合同会社(三重、以下「パワーエイド三重」)が三重県松阪市において行う完全NON-FIT型木材・製造業生産副産物ハイブリッド燃料による脱炭素電源開発事業に参画したと発表。パワーエイド三重は「パワーエイド三重シン・バイオマス松阪発電所」の建設・運営を目的に、バイオマスパワーテクノロジーズ(株)(三重)を代表社員として2021年7月に設立された会社。発電所は三重県多気町に所在するホクト(株)の三重きのこセンターから排出される廃菌床(使用済み培地)ならびに主に中部

圏から排出されるリサイクル木材チップおよびプラスチック系資源を発電燃料とする。発電規模は1,990kW、年間想定発電量は約1,647万kWh。発電した電力は15年間にわたり燃料サプライヤーであるホクトに供給される予定。総事業費は税込み約26億円。(株)みずほ銀行(東京)をアレンジャーとする9行でのシンジケートローンが組成されている。2025年1月商業運転開始予定【パワーエイド三重合同会社:2023/03/31】

[https://power-aid-group.co.jp/wp-](https://power-aid-group.co.jp/wp-content/uploads/2023/03/HP-011%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%91%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%A8%E3%82%A4%E3%83%89%E4%B8%89%E9%87%8D%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%BB%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E6%9D%BE%E9%98%AA%E7%99%BA%E9%9B%BB%E6%89%80%E3%83%90%E7%B5%84%E5%90%88%E5%87%BA%E8%B3%87%E8%80%85%E7%94%A8.pdf)

[content/uploads/2023/03/HP-011%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%91%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%A8%E3%82%A4%E3%83%89%E4%B8%89%E9%87%8D%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%BB%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E6%9D%BE%E9%98%AA%E7%99%BA%E9%9B%BB%E6%89%80%E3%83%90%E7%B5%84%E5%90%88%E5%87%BA%E8%B3%87%E8%80%85%E7%94%A8.pdf](https://power-aid-group.co.jp/wp-content/uploads/2023/03/HP-011%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%91%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%A8%E3%82%A4%E3%83%89%E4%B8%89%E9%87%8D%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%BB%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E6%9D%BE%E9%98%AA%E7%99%BA%E9%9B%BB%E6%89%80%E3%83%90%E7%B5%84%E5%90%88%E5%87%BA%E8%B3%87%E8%80%85%E7%94%A8.pdf)

■出版物等の取次販売を行っている(株)トーハン(東京)、薪ストーブの輸入販売とアウトドア用品の企画開発販売を行うファイヤーサイド(株)(長野)の全株式を取得。3月20日に株式譲渡契約を締結し、31日に株式譲渡実行。ファイヤーサイド社代表取締役のポール・キャスナー氏は、株式譲渡後も引き続き代表取締役を務める予定。今回の株式取得により、トーハングループの事業に新たにアウトドア関連事業が加わる。アウトドアと読書を組み合わせたイベントの展開や業態開発等も企画し、生活者・読者に新たな価値を提案していく【(株)トーハン:2023/03/31】

https://www.tohan.jp/news/20230331_2084.html

■(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会(東京)、WEBサイト「WOOD BIO(木質バイオマス熱利用プラットフォーム)」(暫定版)を公開。林野庁補助事業「地域内エコシステム」モデル構築事業(優良事例の横展開体制整備支援)により作成。木質バイオマス熱利用の関係者、特にこれから取り組もうとする人に必要な情報や、関係者が交流できる仕組み等を提供するプラットフォーム型サイト。今年度中に本格運用する予定【(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会:2023/04/01】

<https://jwba.or.jp/topics/info/topics20230401/>

■丸紅（株）（東京）と中部電力（株）（愛知）が共同で出資する「ぎふ西濃グリーンパワー合同会社」（岐阜）が、「ごうどバイオマス発電所」の建設工事を完了し、4月2日より商業運転開始。ぎふ西濃グリーンパワー合同会社は、丸紅 100%子会社の丸紅クリーンパワー（株）（東京）と中部電力が50%ずつ出資して設立。2021年8月から発電所の建設工事を行ってきた。発電所は主に岐阜県内産の未利用間伐材等を木質チップにし、8万t/年使用する木質専焼の施設。丸紅と中部電力両社初の、地産地消型バイオマス発電所。発電出力は7,500kW、想定年間発電電力量は約5,300万kWh（一般家庭約1.7万世帯分に相当）。発電した電力はFITに基づき中部電力パワーグリッド（株）（愛知）に売電する。ボイラは（株）アイメックス（広島）製、発電設備は西芝電機（株）（兵庫）製を採用。EPC（設計・調達・施工）サービスは（株）神鋼環境ソリューション（兵庫）が担当。丸紅と中部電力は福井県敦賀市の同じく木質チップを燃料とする木質専焼バイオマス発電所の敦賀グリーンパワー発電所（出力37MW）を共同で運営しており、今後両発電所間の技術交流などなど運営面における相乗効果を目指す【中部電力（株）：2023/04/03、メガソーラービジネス：2023/04/13】
https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1210513_3273.html
<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/03292/?ST=msb>

■（株）奥村組（大阪）、福島県石川郡平田村にある「福島平田村バイオマスパワー2号」の営業運転を4月2日に開始。同社、四国電力（株）（香川）および岩堀建設工業（株）（埼玉）が共同出資により設立した「平田バイオエナジー合同会社」が建設を進めてきた。発電所の燃料となる木質チップは、福島県および近隣県の林地で発生する間伐材等を使用。発電出力は、昨年5月29日に運開済みの1号と同じ1,990kW。年間発電電力量は1、2号合計で約2,900万kWh（一般家庭約9,300世帯分に相当）【（株）奥村組：2023/04/03】
<https://www.okumuragumi.co.jp/newsrelease/2023/post-37.html>

■MIRARTHホールディングス（株）（東京）、共同出資を行う合同会社富士山朝霧Biomass（静岡）が4月5日に「富士山朝霧バイオマス発電所」の発電を開始。富士宮市朝霧地域の酪農家から収集した牛ふん17t/日（約300頭分）を燃料とするメタンガス発電。発電容量は100kWh、想定年間発電量は800,000kWh。

発電した電気は地域電力会社を經由して県東部地区に配電し、発酵後の消化液は有効な有機肥料として販路拡大する。同事業によるCO₂削減効果は1,150t/年に上る見込み【MIRARTHホールディングス（株）：2023/04/05】

https://mirarth.co.jp/pdf/news/press_20230405.pdf

■3月29日に山形・金山町森林組合で火が発生し、事務所や工場が全焼。火は風にあおられてオイルや灯油・トラックのタイヤなどに燃え移り、住宅用に製材し倉庫に保管していた約3,000万円分の金山杉や、加工用の機械などを焼いて7時間半後に鎮火。関係者によると、事務員用と山仕事をする従業員用の休憩室があり、それぞれに長さ1m、直径30cmの丸太が丸ごと入る大型の薪ストーブが置かれていた。火事に気付いた男性従業員は、事務員用の休憩室に置かれた薪ストーブの煙突上部にある雨よけ用の屋根の辺りから火が出ていたと話しており、警察と消防は煙突上部の異常過熱が火事につながったとみて調査中【Yahoo!ニュース：2023/04/05】

<https://news.yahoo.co.jp/articles/224588cf23cbc5d6ab8ebb2ff583cc37c4bd2738>

■（株）紀陽銀行（和歌山）、（株）ウッドリサイクル和歌山（和歌山）と融資契約を締結。ウッドリサイクル和歌山は地元木材業者等から原料を仕入れ、ウッドチップを製造し、バイオマス発電事業者に供給する事業者。今回締結したのは同社工場におけるウッドチップの加工工場新設にかかる融資契約となる【（株）紀陽銀行：2023/04/05】

https://www.kiyobank.co.jp/business/get_pdf.php?f=00002501

■奈良県五條市、同市住川町で2024年2月から商業運転を開始する「合同会社木質バイオマス五條発電所」（奈良）と連携協定を締結（4月4日）。同合同会社は元衆院議員の亀井静香氏が会長を務めるMJSソーラー（東京）が県内の林業事業者らをスポンサー企業として設立。「（仮称）木質バイオマス五條発電所」は未利用材や木質廃材などを燃料とする。4月12日には建設地で建設工事上棟式を実施【奈良新聞：2023/04/05、2023/04/13】

<https://www.nara-np.co.jp/news/20230405214257.html>

<https://www.nara-np.co.jp/news/20230413175459.html>

■中部電力（愛知）、三重県尾鷲市にある中部電力尾鷲三田火力発電所の跡地活用に計画していた木質バイオマス発電所の設置中止を発表（4月6日）。鋼材価格の高騰で初期投資費用が上昇し採算が見込めなくなったため。同発電所は2018年12月19日に廃止。その跡地を活用しようと尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力が「おわせ SEA モデル協議会」を設立。「新たなエネルギー」と「豊かな自然の力」で、産業、観光、市民サービスを融合した拠点づくりを目指してきた。新たなエネルギーの一つとして、周辺地域の間伐材等を活用する木質バイオガス発電を検討。そこから発生する熱を中心としたエネルギーやCO₂などを一次産業および誘致する企業に利用することを目指しており、商工会議所がバナメイエビの陸上養殖の水温維持に発電所の排熱利用を当てにしていた。中部電力が新たな熱源の必要性への配慮は示しているが、基本方針の見直しが必要となる事態【中日新聞：2023/04/07、太平洋新聞：2023/04/08、おわせ SEA モデル】

<https://www.chunichi.co.jp/article/668038>

<https://digital.taiheiyo-np.jp/column/furenzokusen/42559>

<https://www.owase-seamodel.jp/project>

■大阪ガス（株）（大阪）、マレーシアにおけるバイオマスを活用したe-メタン製造事業の詳細検討を開始。（株）IHI（東京）、マレーシアの大手国営ガス・石油供給事業者 Petrolim Nasional Berhad（以下「ペトロナス」）の技術ソリューション部門である PETRONAS Global Technical Solutions Sdn. Bhd.と、e-メタン製造事業の基本設計実施判断に向けた詳細検討を開始するための覚書を締結。同事業では、安価で豊富な未利用バイオマスとペトロナスのLNG基地が存在するマレーシアにおいて、未利用森林資源や農業残渣等のバイオマスを高温でガス化することで水素、一酸化炭素、二酸化炭素を主体とする合成ガスを製造。得られた合成ガスを用い、CO₂と水素からメタンを合成する「メタネーション」を行うことで、再エネ電力の価格に影響されないe-メタンの製造を実現。2030年には製造したe-メタンをペトロナスがマレーシアに保有するLNG基地で液化し、日本などに輸出することを目指す。また副産物として得られるバイオマス由来の二酸化炭素を地中に貯留（CCS）する場合ネガティブエミッションが可能となるため、今後その可能性についても検討する予定【大阪ガス（株）：2023/04/10】

<https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2023/172095154087.html>

■広島県廿日市市原地区で、間伐材を燃料にしたバイオマス発電所の建設計画。（株）ネオナイト（島根）が2025年2月頃の小規模プラント稼働を目指している。電気の地産地消に向け、木材を広島、山口両県の森林組合などから調達する予定【中国新聞：2023/04/10】

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/289588>

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）、令和4年度林野庁補助「地域内エコシステム」サポート事業により実施した各種事業の報告書をウェブに掲載。「木質バイオマス燃料の需給動向調査」や「『発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン』の運用に関する実態調査」、「木質バイオマス熱利用導入及び利用向上可能性調査」等。下記サイトよりダウンロード可【（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会：2023/04/12】

<https://jwba.or.jp/topics/update/ropics20230413/>

■丸紅（株）（東京）、大成建設（株）（同）とともに北海道石狩市の石狩湾新港地域において、共同で出資する特別目的会社「石狩地域バイオマス発電（株）」（北海道）を通じ、木質専焼の「石狩地域バイオマス発電所」を建設、運営すると発表。石狩地域バイオマス発電は、丸紅100%子会社の丸紅クリーンパワー（株）（東京）および大成建設が50%ずつ出資し、設立。同事業では北海道道央地区を中心とした地域の未利用間伐材等を木質チップとし、発電燃料として使用。石狩市より地域資源バイオマス発電設備の認定を取得している。発電出力9,950kW、想定年間発電電力量約8,000万kWh（一般家庭約2.5万世帯分に相当）、発電した電気は北海道電力ネットワーク（株）（北海道）に全量売電する。信金中央金庫（東京）及び北海道の北海道信用金庫、空知信用金庫、苫小牧信用金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫と融資契約を締結し、初回融資は実行済み。2023年11月に着工し、2026年1月運開始予定【丸紅（株）、日本経済新聞：2023/04/13】

<https://www.marubeni.com/jp/news/2023/release/00043.html>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOFC12AB10S3A410C200000/>

■欧州理事会、2030年までの温室効果ガス（GHG）排出削減55%と2050年の気候中立化を実現するための「Fit for 55」政策パッケージの一環として、努力分担規則（ESR）及び土地利

用、土地利用変化及び林業部門（LULUCF）に関する規則の改正を承認。LULUCFには土壌や樹木、植物、バイオマス、木材の利用が含まれる。改正後のLULUCF規則は、2030年のLULUCFにおける温室効果ガス（GHG）純吸収量（排出量を差し引いた吸収量）の目標をEU全体で310メガトン（CO₂換算）に引き上げる。特に2026年以降2030年にかけては、各加盟国のGHG純吸収量の目標も引き上げてこれに拘束力を持たせる。これらの改正規則は、署名及び官報への掲載を経て発効される【EIC ネット：2023/04/13】

<https://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=49089&oversea=1>

■味の素（株）（東京）、佐賀県佐賀市にある同社九州事業所で、佐賀市清掃工場におけるバイオマス由来の発電量を「グリーン電力証書」として2023年4月発電実績分より順次、購入することを決定。佐賀市清掃工場は2022年4月に「グリーン電力発電設備」の認証を取得し、同年5月よりグリーン電力事業を開始。バイオマス発電の燃料は市内の廃棄物。これにより発電されたグリーン電力に含まれる環境価値を、証書発行事業者である八千代エンジニアリング（株）（東京）が第三者認証機関の（一財）日本品質保証機構（東京）の認証を得て「グリーン電力証書」として発行。これを購入することで、温室効果ガス排出量約2,000t/年の削減効果を見込む【味の素（株）、八千代エンジニアリング（株）：2023/04/14】

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2023_04_14.html

https://www.yachiyo-eng.co.jp/news/2023/04/post_691.html

■東京センチュリー（株）（東京）、フォレストエナジー（株）（東京）が2019年に設立した遠州フォレストエナジー合同会社（静岡）へ融資することに合意し、プロジェクトファイナンスによる融資契約を締結。東京センチュリー以外の融資参加行は、（株）商工組合中央金庫（本店・東京）、（株）清水銀行（静岡）、浜松磐田信用金庫（静岡）。また同日、静岡ガス&パワー（株）（静岡）および中部電力（株）（愛知）が同合同会社に出資することに合意し、出資比率はフォレストエナジーが70%、静岡ガス&パワーが25%、中部電力が5%に。同事業は静岡県袋井市において「遠州フォレストエナジー発電所」の建設・運営を計画。燃料となる木材は静岡県産の未利用材を主として調達するほか、枝条や根元部、樹皮も収集、木質チップにして約

9万t/年使用する。発電出力は7,100kW、想定年間発電電力量約5,253万kWh（一般家庭約1.7万世帯の年間使用電力量に相当）。運転開始は2024年12月の予定【PR TIMES、中部電力（株）：2023/04/14】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000107.000076147.html>

https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1210598_3273.html

■ドイツで4月15日、最後の原子炉3基が発電のための運転を停止。2011年の東京電力福島第1原発事故を受け、当時のメルケル政権が「脱原発」の方針を打ち出し、17基の原発を段階的に停止してきた。「脱原発」の期限は昨年未までだったが、ウクライナに侵攻したロシアがドイツへの天然ガスの供給を大幅に削減したことで、エネルギー危機への懸念が強まり政府が最後の3基の停止期限を4月15日まで延期していた。経済省によると、最後の原子炉3基がドイツの総発電量に占める比率は昨年10~12月期は約5%だった。かつてはドイツの総発電量の1/3を原子力発電が占めていたが、連邦統計局のデータでは昨年はわずか6%にとどまり、再生可能エネルギーは44%に拡大。ただドイツではエネルギーの確保が課題となる中、4月の世論調査で「脱原発」に反対と答えた人が59%で賛成の34%を大きく上回り、経済界からも懸念が示されている。今後は電力の安定供給やレベル放射性廃棄物、いわゆる「核のごみ」の処分などが課題に。ハーベック連邦経済・気候保護大臣は、「現在は、2030年に国内における電力需要の80%を再生可能エネルギーで供給するために、法的根拠を準備している」と述べている。ドイツ政府は2045年までに気候中立を達成することを目指しており、今後エネルギーシステム全体を再生可能エネルギーに転換していく【REUTERS：2023/04/17、NHK NEWS WEB：2023/04/16、EIC ネット：2023/04/28】

<https://jp.reuters.com/article/germany-energy-nuclear-idJPKBN2WE02V>

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230416/k10014039901000.html>

<https://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=49141&oversea=1>

■鳥取県境港市にある「境港バイオマス発電所」、4月18日に関係者に向けたお披露目会を実施。テープカットの後、出席者は燃料となるインドネシアやマレーシアから輸入したPKSを

温めて水蒸気をつくるボイラやタービンなどの設備を見学。発電所は(株)東京エネシス(東京)の100%出資子会社である合同会社境港エネルギーパワー(鳥取)が2万6,000㎡ほどの敷地に総事業費約120億円をかけて建設。2022年10月から既に運転を開始している。燃料にはPKSの他、境港市で発生したバーク(樹皮)材も使用する計画。発電出力2万4,300kW、年間発電量は一般家庭約5万5,000世帯分の消費電力に相当する1億6,632万kWhにのぼる。発電した電力はFIT制度を利用し、中国電力(株)(広島)に売電され、年間30億円から40億円の売り上げを見込む【NHK NEWS WEB、合同会社境港エネルギーパワー、Yahoo! Japan:2023/04/18】

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/tottori/20230418/4040014818.html>

https://sakaibp.p-kit.com/userblog/index.php?action=view&blog_id=2152256

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6e8e22099d0f2151fb5958c1790fc38b5fffc4a8>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6e8e22099d0f2151fb5958c1790fc38b5fffc4a8>

■金沢大学角間キャンパス内に昨秋竣工していたバイオマス研究施設「バイオマス・グリーンイノベーションセンター(BGIC/ビージック)」が4月から本格稼働。4月18日に完成記念式典を開催。バイオマス(天然由来素材)による脱石油社会の実現、森林資源の活用への転換、生産プロセス自体の革新など持続可能な循環型社会を実現するために設置した共創型の

研究開発拠点。地上7階建てで延床面積は約7,700㎡。総合化学品メーカーの(株)ダイセルから30億円の資金提供を受けて設置しており、産学連携施設としては国立大で最大規模。志を共にする複数の大学や企業がオープンに参画し、業種や専門の壁を越えた自由な交流と、それぞれの特色を活かした異分野融合による価値共創を目指していく【金沢大学:2023/04/18、中日新聞:2023/04/19】

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/04/230418-3.pdf>

<https://bgic.kanazawa-u.ac.jp/>

<https://www.chunichi.co.jp/article/674824>

■NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク(千葉)、「バイオマス白書2023」が完成。「2022年のバイオマス発電の動向」や「バイオマスの産業用熱利用の推進」といったトピックについて、国内外から幅広く集められた情報がまとめられている。サイト版は閲覧可。下記サイトより小冊子版(一冊200円)の申し込みも可【NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク:2023/4月】

<https://www.npobin.net/>

※OSR:バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■関西電力(株)(大阪)、3月24日に兵庫県相生市にある「相生バイオマス発電所」の本格運転を開始。関西電力が60%、三菱商事クリーンエナジー(株)(東京)が40%出資し2017年4月に設立した相生バイオエナジー(株)(兵庫)が、石油を燃料としていた相生火力発電所2号機をバイオマス発電所に転換するとして2020年2月から建設を進めてきた。当初は1月の稼働を見込んでいたが、試運転で設備追加が必要となったこと等で稼働が遅れていた。主燃料となる木質ペレットは三菱商事(株)(東京)がEnviva(USA)の関連会社から調達。発電出力は20万kWで国内最大のバイオマス発電所。年間発電量は一般家庭約43万世帯分の年間使用量に相当する約13.5億kWh。FITを通じて関西電力送配電(株)(大阪)に売電。約55万t/年CO₂を削減する見込み。相生火力発電所の1号機と3号機は

設備が老朽化する中で稼働率が低下していたため、3月末に廃止。関電は京都府宮津市で石油火力発電設備を持つ「宮津エネルギー研究所」も廃止を決めるなど、老朽化した火力発電所を廃止している。同社グループは2040年までに国内で再生可能エネルギー500万kWの新規開発、累計900万kW規模の開発に取り組む方針【日本経済新聞、関西電力(株):2023/03/27、日経XTECH:2018/10/31】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF2730D0X20C23A300000/>

https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2023/pdf/20230327_1_j.pdf

<https://xtech.nikkei.com/dm/atcl/news/16/103111647/>

■(株)レノバ(東京)、3月28日開催の取締役会において、4月1日付の組織変更及び人事異動について決議し、公表。現行のオペレーション本部をバイオマス事業本部とオペレーション本部に分割し、バイオマス事業本部は国内で運転中及び建設中のバイオマス発電所の運営に特化する。バイオマス事業本部長には苅田バイオマスエナジー(株)(福岡)元所長の土井充氏が就任【(株)レノバ:2023/03/28】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9519/tdnet/2255582/00.pdf>

■宮城県仙台市宮城野区蒲生で社の都バイオマス発電所を巡り、県と市、周辺5市町と事業主体の合同会社社の都バイオマスエナジー(東京)が県条例に基づく公害防止協定を締結(3月28日)。社の都バイオマスエナジーは(株)レノバ(東京)が29.0%、ユナイテッド計画(株)(秋田)が25.0%、住友林業(株)(東京)が15.0%、みずほリース(株)(東京)が17.0%、RenoDa パートナース合同会社(東京)が14.0%出資しており、レノバが開発を主導。三井住友信託銀行(株)(東京)を主幹事とするプロジェクトファイナンスを組成。発電所の燃料は北米産を中心としたペレットとインドネシア産、マレーシア産のPKSを約31万t/年使用予定。発電出力は74.95MW、想定年間発電量は約553,300MWh(一般家庭約17万世帯の年間使用電力量に相当)。2021年2月に本格着工しており、2023年11月運開予定。レノバはみずほリース及びRenoDa パートナースと「合同会社社の都バイオマスエナジーに係る持分譲渡に関する覚書」を締結しており、発電所の完成日以降に各社が保有する特別目的会社出資持分(計31.0%)を買い増す権利を有する。この権利を行使した場合、レノバの出資比率は60.0%になる見込み【河北新報:2023/03/29、宮城県:2023/03/28、住友林業(株)、(株)レノバ:2020/10/26】

<https://kahoku.news/articles/20230328khn000094.html>

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/mrm20230301.html#naiyou>

<https://sfc.jp/information/news/2020/2020-10-26.html>

https://www.renovainc.com/news/business/pdf/20201026_PR_ESS.pdf

■(一社)日本木質ペレット協会(東京、以下「JPA」)、「JPA燃料用優良木質ペレット品質規格」を改訂。木質ペレットのJAS規格が間もなく公布予定であり、しばらくはJPA規格とJAS規格を並行して行っていくことを想定しているが、木質ペレット

認証審査委員会で移行の可能性等について審議。品質規格の項目毎にJPA規格の参考規格であるISO規格やJPA規格との比較を行った結果、各項目の数値をJASに合わせても問題ないとの結論に。その結果を受け、JPA品質規格改定案を作成し、理事会が承認。4月1日より適用する【(一社)日本木質ペレット協会:2023/03/31】

<https://w-pellet.org/2023/03/31/2784/>

■関西電力(株)(大阪)、同社舞鶴発電所(京都)のバイオマス燃料供給設備で3月14日に発生した火災について、自社で実施した発生経緯についての調査結果を公表(4月3日)。同発電所では石炭と木質燃料を混焼しており、二つあるバイオマス燃料(ペレット)サイロのうちNo.1バイオマスサイロ内にある燃料の一部が発酵・酸化して発熱するとともに、一酸化炭素およびメタンガスといった可燃性ガスが発生。さらにサイロ内およびバイオマス燃料をボイラへ運搬する設備内に可燃性ガスが滞留し、発熱が進んだサイロ内のバイオマス燃料が自然発火し、可燃性ガスに引火して火災に至ったとしている。3月15日には消防による鎮火が確認されているが、バイオマス燃料供給設備のほぼ全域、燃料受け入れ設備の一部の計2,000㎡が延焼した。同社は調査結果公表と同日、幅広い知見を取り入れた火災の原因究明と再発防止対策の具体化・推進を行うため、「舞鶴発電所バイオマス設備火災事故対策検討会」を設置。5月末までを目途に再発防止策をまとめる【関西電力(株)、JJI.COM:2023/04/03】

https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2023/pdf/20230403_1_j.pdf

<https://www.jji.com/jc/article?k=2023040300890&g=eco>

■愛媛県今治市の県立今治東中等教育学校新5年生(高2)有志のグループ「SFキーパーズ」が自らの環境保全活動を紹介する動画が2022年度の「グリーン・ブルー・エデュケーション・フォーラム・コンクール」(実行委主催、環境省共催)U18(18歳以下)部門で特別賞【大和リース賞】を受賞。受賞作は「桜井海岸(唐子浜～志島ヶ原)白砂青松(はくしゃせいしょう)保存プロジェクト」と題した3分間の動画。同校近くの桜井海岸に4,000本以上広がる松林から約115kg/日も出る「廃棄松葉」が地元の悩みの種となっており、昨年生徒らは廃棄松葉を使ってペレットを作る計画で活動を開始。動画ではペレット加工機や乾燥機を購入するためクラウドファンディング(CF)を

行って成功するまでと、水分量を調整しながらペレット作りに挑戦し、そのペレットの利用だけでなく様々な活動につなげていく様子がまとめられている。詳細は下記サイトを参照【毎日新聞：2023/04/03、Green Blue Education Forum 実行委員会】
<https://mainichi.jp/articles/20230403/ddl/k38/100/263000c>
<https://gb-ef.org/announce2022/>

■長野県南信州地域振興局が、利活用・振興策「オール南信州森林・林業、木材産業形態構想」を作成。飯田下伊那地域の人工林が植林後半世紀以上経過して素材として利用可能な時期を迎えていることから、成熟した森林資源をフル活用し、素材生産量と地域内の木材自給率を高めることを狙う。2023年度スタートの県の新総合5カ年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」南信州地域版の重点取り組みの一つ。2027年度の達成目標として、素材生産量を現状の2倍となる6万m³(現状3万m³)、木材の地域内自給率57%(現状29%)を掲げている。地域内の木材需要量7万2,000m³のうち、現状は約7割が地域外からの供給。生産量を増やすとともに、建築用だけでなくペレット、チップなどを含めた多段階利用(カスケード利用)を推進し、自給率を向上させる【南信州新聞：2023/04/04】
<https://minamishinshu.jp/news/politics/%E3%80%90%E9%A3%AF%E7%94%B0%E5%B8%82%E3%83%BB%E4%B8%8B%E4%BC%8A%E9%82%A3%E3%80%91%E7%9C%8C%E5%8D%97%E4%BF%A1%E5%B7%9E%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E6%8C%AF%E8%88%88%E5%B1%80%E3%81%8C%E6%A3%AE%E6%9E%97%E8%B3%87.html>

■固体バイオ燃料国際規格化研究会(SBFJ)で、2019年の設立以来代表幹事を務めてきた吉田貴紘氏が3月31日をもって幹事、代表幹事を退任。同研究会は固体バイオ燃料の国際規格化に関し情報収集、国際会合への参加、国内でのシンポジウムの開催等、様々な活動を行っている。吉田氏を中心に、日本がISO/TC238委員会の場で意見申し立てなどをし、固体バイオ燃料の国際規格制定に積極的に関わっていくための正規メンバー(Pメンバー)資格を得ようと関係省庁・団体等との調整に力を注いできた。退任は4月の人事異動で吉田氏が所属する組織の枠で内閣府に出向することになったのが主な理由とされ、3月23日の役員会で了承された【OSR No.556：2023/04/05、固体バイオ燃料国際規格化研究会】
<https://solidbiofuelsforum.wixsite.com/sbfj>

■(株)商船三井(東京)、風の力を船舶の推進力として利用する「硬翼帆(こうよくほ)」を搭載した「ウインドチャレンジャー」導入船を現状の1隻から2035年度までに80隻に拡大へ。最初の船舶である「松風丸(しょうふうまる)」は東北電力(株)(宮城)用の石炭輸送船として(株)大島造船所(長崎)が建造し、2022年10月に就航。帆は繊維強化プラスチック製で4段式に伸縮。高さが最大53mまで伸びる。自動制御で帆の回転のほか、風の強弱に応じて帆を伸縮させ、風を捕まえて推進力に変える。載貨重量10万t級のバラ積み船では、同型船よりも温室効果ガスを日本～豪州航路で5%、日本～北米西岸航路で8%削減できるという。2隻目は木質ペレット輸送のバラ積み船として同造船所が建造し、2024年に竣工を見込む。コロナ禍で得た利益を元に、計画では2030年度までに25隻、2035年度までに80隻導入する予定【ニュース一致：2023/04/06】
<https://newswitch.jp/p/36516>

■エンピバ(米国)、共同創業者のジョン・ケプラー氏が、4月1日付で取締役会執行会長として復帰すると発表。同氏は心臓の病気を理由に昨年11月に会長兼最高経営責任者(CEO)を退任したが、手術を終えて同社に戻り、今後は戦略的な企業イニシアチブ、成長、主要な資本市場および金融ステークホルダーとの関係の促進を支援する。社長兼CEOのトーマス・メス氏は引き続き同社を率いる。暫定会長を務めていたラルフ・アレクサンダー氏は筆頭独立取締役に移行し、今後も指名・コーポレートガバナンス委員会の委員長を務める【JJI.COM：2023/04/06】
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023040600243&g=bnw>

■長野県伊那市が同市西箕輪に建設していた市産学官連携拠点施設「inadani sees」が完成し、4月6日に竣工式を実施。市によると施設は今後の持続可能な地域づくりに向け新たな仕事の創出(起業)や働く場の確保(雇用創出)などの拠点と位置付け、企業や大学関係者が食や暮らし、健康をテーマに研究開発を行うほか、食品や木材産業に携わる人材の確保に取り組む。貸室(家賃月額4万4,000円～21万6,000円)は、現時点で5室の入居が決まっている。伊那市や岐阜、兵庫各県の企業が林業経営の安定化をはじめ、新たな生ハムやチーズ、木質ペレットボイラの開発を行うほか、信州大学農学部関連の研究者が入居する。運営は官民でつくる協議会に委託。総事業費は

8億145万円で、国の交付金などを充てて建設。準備期間を経て5月8日から運営【Nagano Nippo Web：2023/04/07】

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/107950>

■国際環境 NGO FoE Japan（東京）等国内外の環境 NGO 90 団体が、5月に広島で開催される先進7カ国首脳会議（G7 サミット）のホスト国を務める日本政府に対し、バイオマス混焼・専焼に対する支援を行わないことなどを要請する共同声明「石炭火力発電のバイオマス混焼および専焼化はグリーンウォッシュ—気候変動を加速させ、森林生態系を破壊する—」を発表（4月11日）。バイオマス燃料のライフサイクル全体におけるCO₂排出と森林の回復に要する年月および森林が回復しない可能性を度外視している点や、バイオマス混焼による見せかけの高効率化による非効率石炭火力発電所の延命を行っている点、混焼に使われる木質バイオマス燃料の大部分が東南アジアや北米から輸入されており、森林減少・劣化や生物多様性喪失などの生態系への影響は計り知れないこと等を挙げ、日本政府に以下の点を求めた：○バイオマス混焼の有無に関わらず、一刻も早く脱石炭を達成すること○バイオマス混焼・専焼に対する支援を行わないこと○廃棄物以外の燃料を使うバイオマス発電を再生可能エネルギーの対象から外し、補助金等による支援を行わないこと○バイオマスの燃焼段階のCO₂排出を発電所ごとに計上するよう義務づけること○バイオマス燃焼のCO₂排出を消費国がカウントし、自国の炭素勘定に含めること【FoE Japan、PR TIMES：2023/04/11】

<https://foejapan.org/issue/20230411/12275/>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000027.000077060.html>

■大和ハウス工業（株）（大阪）、2023年1月26日付で「（株）響灘火力発電所」（福岡）の経営権を取得し、グループ会社にしたことを公表。大和ハウス工業は2022年5月に公表した「第7次中期経営計画」において、“カーボンニュートラルの実現”をテーマとし、2026年度には累計1,550MW以上、2030年度には累計2,500MW以上の再エネ供給施設を自社運営することを目指している。定格出力112MWの発電能力を有する福岡県北九州市にある響灘火力発電所は2019年の運転開始以来、石炭70%とバイオマス30%を燃料とする混焼発電を行ってきたが、脱炭素化の流れが世界的に加速してきており、以前から

取引関係にあった大和ハウス工業がバイオマス専焼化に取り組むため子会社化した。今後は既存設備（微粉炭機、集塵装置、ボイラ等）の改造や燃料貯蔵設備・燃料搬送設備などの増設改造を行い、2026年4月のバイオマス専焼運転開始を目指す【大和ハウス工業（株）：2023/04/17】

<https://www.daiwahouse.co.jp/about/release/house/20230417140600.html>

■PoC TECH（株）（東京）、（株）ロイヤルコーポレーション（埼玉）、（有）シモタニ（岐阜）の三社で、太陽光発電による自律電力を使い木質ペレットの燃焼を制御する独自のサウナシステムを共同開発。ロイヤルコーポレーションが開発した国産の木材を使用したキューブデザインの屋外サウナ「RISI（リージ）」に、PoC TECHの太陽光だけで電気を作り出し使うことができる自律型自然エネルギー蓄発電ユニット「tsu-mu®」と、シモタニの電動「木質ペレットサウナストーブ」を組み合わせた日本初のサスティナブルな新しいアウトドアサウナ。4月21日から23日まで静岡県富士宮市で開催されたイベント「GOOUT JAMBOREE 2023」で展示し、稼働させた。太陽光発電を活用することで、季節を問わず電源供給の無い場所でもアウトドアサウナを楽しむことができる上、CO₂排出抑制にも繋がるとしている【PR TIMES、PocTECH（株）、SAUNEA：2023/04/18】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000074657.html>

https://pocotech.co.jp/news/2023/20230418_265

<https://saunea.jp/news/230418-2/>

■双日（株）（東京）、宮崎県と同県内の農業資源を活用した資源循環事業に関する連携協定書を締結。同社は2022年5月、宮崎県児湯郡川南町で早生樹のハコヤナギ試験植林を開始。今月同県内において、遊休農地や未利用期間の農地も活用し、ハコヤナギに加え新たにソルガムの試験生産を開始する予定。さらにそれらを原材料にペレット燃料や家畜用飼料に加工し、需要家に届けるといった資源循環に向けた実証にも取り組む【双日（株）：2023/04/19】

<https://www.sojitz.com/jp/news/2023/04/20230419.php>

※OSR：バイオマス・再エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報 (国内)

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。

※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■IGES 気候変動ウェビナーシリーズ「気になるカーボンの国際動向」

2023年5月12日(金)

オンライン

<https://www.iges.or.jp/jp/events/20230512>

■NPO 法人環境文明 21 「第 25 回環文ミニセミナー カーボンライジングと日本の気候変動政策」

2023年5月12日(金)

Zoom

<http://www.kanbun.org/2023/20230512mini/20230512mini.pdf>

◎13th Biomass Pellets Trade & Power Japan

2023年5月16日(火)～18日(木) ※18日はサイトツアー

マリオットホテル(東京都品川区)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=230501&>

■(一社) サステナブル経営推進機構「第6回心豊かな未来ビジネスシンポ 持続可能な未来社会～森から拓く未来のくらし～」

2023年5月22日(月)

四条烏丸「京都経済センター」(京都府京都市下京区) & オンライン

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000040.000079969.html>

■日報ビジネス(株)「2023 NEW 環境展」/「2023 地球温暖化防止展」

2023年5月24日(水)～26日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.n-expo.jp/>

◎ペレットクラブ特別展示「バイオエネルギー2023」

2023年5月24日(水)～26日(金)

東京ビッグサイト・東5ホール(東京都江東区)

<https://pelletclub.jp/library/2023/04/bioenergy-2023524-26.html>

■NPO 法人農都会議 5月勉強会「動き出した林業イノベーションの未来～地域毎に多様な林業のスマート化、デジタル化の課題を考える～」

2023年5月29日(月)

オンライン開催(ZOOMなど利用)

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/393>

■日本エネルギー学会、他「日本エネルギー学会【リサイクル・バイオマス・ガス化】三部会(RGB)シンポジウム～カーボンニュートラルとエネルギー安定供給～ 一水素製造、水素利用、メタン発酵、メタネーションへの期待と位置づけ～」

2023年6月8日(木)

オンライン開催(ZOOM 予定)

<https://www.jie.or.jp/publics/index/905/>

■(公財)北九州観光コンベンション協会「エコテクノ2023」

2023年7月5日(水)～7日(金)

西日本総合展示場(福岡県北九州市)

<https://eco-t.solution-expo.jp/>

■RX Japan(株)スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営EXPO」

2023年9月13日(水)～15日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp.html>

■RX Japan(株)スマートエネルギーWeek 秋「第1回グリーンファクトリーEXPO 秋～脱炭素・サステナブル工場の実

現へ〜」

2023年9月13日（水）～15日（金）

幕張メッセ（千葉県千葉市）

<https://www.fiweek.jp/autumn/ja-jp/about/gfe.html>

■（一社）日本能率協会「九州エネルギー技術革新 EXPO 2023」

2023年9月26日（火）～27日（水）

マリンメッセ福岡 B館（福岡県福岡市）

<https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index.html>

■（一社）日本木工機械工業会「日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023」

2023年10月5日（木）～7日（土）

ポートメッセなごや（愛知県名古屋市）

<https://mokkiten.com/>

■REIF ふくしま 2023 運営事務局「第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIF ふくしま 2023）」

2023年10月12日（木）～13日（金）

ビッグパレットふくしま（福島県郡山市）

<https://reif-fukushima.jp/>

■（一社）日本能率協会「北海道エネルギー技術革新 EXPO 2023」

2023年10月18日（水）～19日（木）

アクセスサッポロ（北海道札幌市）

https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index_h.html

■（一社）林業機械化協会「2023 第46回全国育樹祭開催記念行事 森林・林業・

環境機械展示実演会」

2023年11月12日（日）～13日（月）

笠松運動公園（茨城県ひたちなか市）

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■RX Japan（株）関西スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営 EXPO」

2023年11月15日（水）～17日（金）

インテックス大阪（大阪）

<https://www.decarbonization-expo.jp/osaka/ja-jp.html>

■（一社）日本能率協会「Japan Home & Building Show 2023」

2023年11月15日（水）～17日（金）

東京ビッグサイト東展示棟（東京都江東区）

<https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/>

■（一社）サステナブル経営推進機構、「エコプロ 2023」

2023年12月6日（水）～8日（金）

東京ビッグサイト東ホール（東京都江東区）

<https://messe.nikkei.co.jp/ep/>

■RX Japan(株)「第9回【国際】バイオマス展【春】」

2024年2月28日（水）～3月1日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/bm.html>

■RX Japan（株）スマートエネルギーWeek 春

2024年3月1日（水）～3日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.wsew.jp/spring/ja-jp.html>

4. イベント情報（海外）

■WasteExpo 2023

2023年5月1日（月）～4日（木）

ルイジアナ州ニューオーリンズ（USA）

<https://www.wasteexpo.com/en/home.html>

2023年5月9日（火）～11日（木）

バリャドリッド（スペイン）

<https://www.expobiomasa.com/en/>

■World Bio Markets 2023

2023年5月10日（水）～11日（木）

ハーグ（オランダ）

<https://bbia.org.uk/event/world-bio-markets-annual-conference-2023/>

■6th National Biomethane Congress

2023年5月11日（木）～12日（金）

ワルシャワ（ポーランド）

<https://magazynbiomasa.pl/narodowy-kongres-biometanu/?lang=en#:~:text=6th%20Biomethane%20Congress%202023%20The%20conference%20will%20be,is%20also%20becoming%20a%20hot%20topic%20in%20Poland.>

■RNG SUMMIT 2023

2023年5月16日（火）～18日（木）

テキサス州ヒューストン（USA）

<https://www.rngcoalition.com/rng-summit>

◎International Biomass Congress & Expo

2023年5月16日（火）～17日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://bioenergy-news.com/conference/>

■International Biogas Congress & EXPO

2023年5月16日（火）～17日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://bioenergy-news.com/conference/>

■LIGNA

2023年5月15日（月）～19日（金）

ハノーファー（ドイツ）

<https://www.ligna.de/en/>

■biofuels international Conference & EXPO

2023年5月16日（火）～17日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://bioenergy-news.com/conference/>

■WBA Spring webinar series programme ” Latest technology

developments in biomass pellet and briquette production”

2023年5月23日（火）

Zoom

<https://www.worldbioenergy.org/news/709/47/WBA-releases-Spring-webinar-series-programme/>

■EUBCE 2023

2023年6月5日（月）～8日（木）※9日（金）はテクニカルツアー

ボローニャ（イタリア）/オンライン

<https://www.eubce.com/>

■Expobiogaz

2023年6月7日（水）～8日（木）

ストラスブール（フランス）

<https://www.expo-biogaz.com/fr>

■ENVEX 2023 - International Exhibition on Environmental Technology & Green Energy

2023年6月7日（水）～9日（金）

ソウル（韓国）

<https://www.envex.or.kr/eng/main/index.asp>

■Biodiesel & Renewable Diesel Summit

2023年6月12日（月）～14日（水）

ネブラスカ州オマハ（USA）

<https://few.bbiconferences.com/Biodiesel.html>

■Ethanol 101

2023年6月12日（月）

ネブラスカ州オマハ（USA）

https://few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Ethanol_101_Preconference

■Carbon Capture & Storage Summit

2023年6月12日（月）

ネブラスカ州オマハ（USA）

http://fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Carbon_Capture_Storage_Summit

■2023 International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2023年6月12日（月）～14日（水）

ネブラスカ州オマハ (USA)

<https://few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagel=Home>

■3rd Biofuels Forum

2023年6月20日(火)～21日(水)

ベルリン (ドイツ)

<https://inventu.eu/biofuels-forum-2023/>

■WBA Spring webinar series programme “Technologies for efficient conversion of biomass to heat and power”

2023年6月22日(木)

Zoom

<https://www.worldbioenergy.org/news/709/47/WBA-releases-Spring-webinar-series-programme/>

■NETZERO LIVE 2023

2023年6月28日(水)～29日(金)

キングストン・アポン・ハル (UK)

<https://www.foresight.events/netzero-live>

■International Conference on Biorefinery and Biomufacturing

2023年7月23日(日)～27日(木)

アテネ (ギリシャ)

<https://icb2023.scievent.com/>

■International Clean Energy Challenge

2023年7月24日(月)～28日(金)

シュピタル・アム・ピュールン (オーストリア)

<https://www.wsed.at/international-clean-energy-challenge-2023>

◎Advanced Biofuels Conference 2023

2023年9月20日(水)～21日(木)

イエーテボリ (スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2023/>

■Biomass PowerON 2023

2023年10月11日(水)～12日(木)

ストックホルム (スウェーデン)

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2023,4,en,2,1,25.html>

■USIPA 2023 Conference

2023年10月16日(月)～18日(水)

フロリダ州マイアミ (USA)

<https://theusipa.org/2023-conference>

■All Energy Australia 2023

2023年10月25日(水)～26日(木)

メルボルン (オーストラリア)

<https://www.all-energy.com.au/en-gb.html>

■2023 UN Climate Change Conference (UNFCCC COP 28)

2023年11月30日(木)～12月12日(火)

アラブ首長国連邦

<https://sdg.iisd.org/events/2022-un-climate-change-conference-unfccc-cop-28/>

■Progress in Manure & Digestate

2023年12月5日(火)～7日(木)

オンライン

<https://ibbk-biogas.com/schedule/online-conference-progress-manure-digestate-treatment/>

■Progetto Fuoco

2024年2月28日(水)～3月2日(土)

ヴェローナ (イタリア)

<https://www.progettofuoco.com/en/>

■WFES 2024 – World Future Energy Summit

2024年4月16日(火)～18日(木)

アブダビ (アラブ首長国連邦)

<https://www.worldfutureenergysummit.com/>

■BOILER 2024 | ABMA Boiler Technology Conference & Expo

2024年5月1日(水)～3日(金)

コロラド州デンバー (USA)

<https://abmaboilerexpo.com/>

5. 2023 年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報（都道府県順）

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇旭川市「令和 5 年度旭川市木質バイオマスストーブ導入促進事業補助金」

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/271/290/291/d069431.html>

◇足寄町「ペレットストーブ導入補助金」

https://www.town.ashoro.hokkaido.jp/kurashi/about-town/hojyokin/hojo_peret.html

◇厚真町「厚真町地球温暖化防止対策推進補助金」

https://www.town.atsuma.lg.jp/office/reception/moving_living/house/support/stove/

◇網走市「網走市住環境改善資金補助制度」

<https://www.city.abashiri.hokkaido.jp/060soshiki/200kensetsukenchiku/juukankyokaizen.html>

◇遠軽町「ペレットストーブ購入費補助金」

<https://engaru.jp/information/page.php?id=83>

◇帯広市「新エネルギー導入促進補助金」

<https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/kurashi/kankyo/energy/kashitsuke/1003731.html>

◇札幌市「再エネ省エネ機器導入補助金制度」

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/hojo/kiki.html>

※第 1 回：2023 年 5 月 10 日～7 月 12 日

第 2 回：2023 年 9 月 1 日～11 月 8 日

◆鷹栖町「鷹栖町ゼロカーボンハウス化補助金」

<https://www.town.takasu.hokkaido.jp/gyosei/environment/detail.html?content=1108>

◇富良野市「再生可能エネルギー導入促進事業補助金」

<https://www.city.furano.hokkaido.jp/life/docs/2015022400163.html>

【岩手県】

◇一関市「薪ストーブ設置費補助金」

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/handlers/printcontent.cfm?GroupID=29&ContentID=155994&ThisPageURL=https%3A%2F%2Fwww%2Ecity%2Eichinoseki%2Eiwate%2Ejp%2Findex%2Ecfm%2F29%2C155994%2C243%2C787%2Chtml&EntryCode=5729>

※対象は薪ストーブ

◇軽米町「薪ストーブ等の購入補助金」

<https://www.town.karumai.iwate.jp/article/.assets/osirase20230412.pdf>

【宮城県】

◆登米市「令和 5 年度住宅用新エネルギー設備導入支援事業補助金」

<https://www.city.tome.miyagi.jp/kankyo/shisejoho/machizukuri/kankyo/hojose/jyuutakuyosinene.html>

【秋田県】

◇秋田市「秋田市住宅用木質ペレットストーブ導入補助金」

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/recycle/1006073/1006110.html>

【山形県】

◇飯豊町「ペレットストーブ導入促進事業」

https://www.town.iide.yamagata.jp/001/teijyuu_kurashi.html

※「木質ペレット版ポイント事業」も有り

◆大蔵村「木質バイオマス利用拡大支援事業」

https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/soshikikarasagasu/sangyos_hinkoka/gyomuannai/8/560.html

◇大江町「おおえを潤す木質エネルギー利用促進事業補助金」
<https://www.town.oe.yamagata.jp/organization/div05/sec019/419>

◆尾花沢市「令和5年度尾花沢市再生可能エネルギー設備導入事業」
<https://www.city.obanazawa.yamagata.jp/kurashi/kankyo/energy/761>

◇金山町「薪ストーブ・ペレットストーブ等設置補助金」
https://www.town.kaneyama.yamagata.jp/shigoto_sangyo/ringyo/1141.html

◇鮭川村「令和5年度鮭川村再生可能エネルギー設備導入事業」
<https://www.vill.sakegawa.yamagata.jp/topics/1214>

◆鶴岡市「令和5年度鶴岡市再生可能エネルギー設備普及促進事業費補助金」
<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/seibi/kankyo/recycleenergy/kanryoene.html>

◇天童市「ペレットストーブ等設置支援事業費補助金」
<https://www.city.tendo.yamagata.jp/lifeinfo/gomi/pelletstove-hojokin.html>

◇南陽市「木質燃料利用促進事業補助金」
<https://www.pref.yamagata.jp/tsearchs/?action=search&city=125>

◆舟形町「舟形町再生可能エネルギー設備等導入設置費補助金」
<https://www.town.funagata.yamagata.jp/s007/sugata/060/020/210/20200117011000.html>

◇真室川町「ペレットストーブ等利用拡大支援事業費補助金」
<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/docs/2018120400400/>

◆村山市「令和5年度村山市木質バイオマス燃焼機器設置事業補助金」
<https://www.city.murayama.lg.jp/kurashi/josei/josei/biomass.html>

[ml](#)
※対象はペレット、チップ、薪、モミガライトを燃料として利用したストーブ及びボイラ（ストーブ兼ボイラを含）

◆山形県「令和5年度やまがた未来くるエネルギー補助金（山形県再生可能エネルギー等設備導入促進事業）」
https://www.pref.yamagata.jp/050016/kurashi/kankyo/energy/saiseikanou/saiseikanou_hojo_h31.html
※対象は薪又はチップを燃料とするストーブ、ボイラ

◆山形市「令和5年度薪ストーブ等利用拡大支援事業補助金」
<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/jigyosya/nougyo/1006768/1006771/1004729.html>

◆遊佐町「令和5年度遊佐町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」
<http://www.town.yuza.yamagata.jp/living/energy/43126pd0416145656.html>

【福島県】

◇会津美郷町「ペレットストーブ等購入設置補助金」
<https://www.town.aizumisato.fukushima.jp/material/files/group/3/R5hozyokintou-itiran.pdf>

◇いわき市「令和5年度いわき市ゼロカーボンライフスタイル促進補助制度（旧環境負荷軽減機器導入促進補助制度）」
<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1680488419046/index.html>

◆福島県「令和5年度福島県自家消費型再生可能エネルギー導入支援事業（脱炭素×復興まちづくり推進事業）補助金（設備導入）」
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/jika-shohi-r5-1.html>

※公募開始は4月～5月頃の予定

◇古殿町「ペレット・薪ストーブ設備設置費用の補助」
<https://www.town.furudono.fukushima.jp/kurashi/jyuutaku-tochi-koutu/taiyoukouhatuden/11>

◆柳津町「住宅用新エネルギー設備等設置費補助金」

<https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2015021600069>

／

【栃木県】

◇さくら市「脱炭素化普及促進事業補助金」

<https://www.city.tochigi->

<sakura.lg.jp/life/000014/000121/000402/p001978.html>

◇矢板市「矢板市家庭のゼロカーボン推進補助金」

<https://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/seikatsukankyou/zero->

<carbon-hojo.html>

【群馬県】

◇渋川市「令和5年度渋川市住宅用温暖化対策設備等導入補助金」

<https://www.city.shibukawa.lg.jp/manage/contents/upload/643>

<3c05843b33.pdf>

◇沼田市「令和5年度沼田市住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金」

<https://www.city.numata.gunma.jp/life/kankyo/taiyoko/100368>

<4.html>

◇みどり市「令和5年度 みどり市住宅用新エネルギーシステム等設置補助事業」

<https://www.city.midori.gunma.jp/www/contents/1554091627>

<081/index.html>

【埼玉県】

◇小川町「令和5年度小川町ゼロカーボンシティ推進補助金制度」

<https://www.town.ogawa.saitama.jp/cmsfiles/contents/000000>

<5/5191/R5gaiyouban.pdf>

◇所沢市「令和5年度創エネ・蓄エネ機器導入「所沢市スマートハウス化推進補助金」【家庭用】」

<https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/seikatukankyo/>

<kankyo/ekojoyosei/kikidounyu.html>

【千葉県】

◇香取市「住宅用省エネルギー設備設置補助金制度（令和5年度）」

<https://www.city.katori.lg.jp/smph/living/kankyohozen/shoene/>

<hojokinseido.html>

※対象は薪ストーブ

◇山武市「山武市木質バイオマス燃料利活用補助金」

<https://www.city.sammu.lg.jp/page/page001016.html>

【東京都】

◇八王子市「令和5年度(2023年度)再生可能エネルギー利用機器等設置費補助制度」

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/004/a546973/a>

<871645/p007132.html>

【新潟県】

◇阿賀町「阿賀町ペレットストーブ購入補助金」

https://www.town.aga.niigata.jp/section/reiki_int/reiki_honbun/r

<174RG00000795.html>

◇小千谷市「令和5年度小千谷市脱炭素設備導入促進補助金」

<https://www.city.ojya.niigata.jp/soshiki/kankyo/saienehojokin.html>

[ml](#)

◇佐渡市「令和5年度佐渡市クリーンエネルギー導入促進補助金」

<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/48278.html>

※対象は薪ストーブ

◇見附市「見附市新エネルギー導入促進事業補助金」

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/22646.htm>

◆南魚沼市「木質バイオマスストーブ設置補助金制度」

<https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/docs/1247.html>

※1次募集:4月3日(月)～4月28日(金)まで

2次募集:9月1日(金)～9月29日(金)まで

【富山県】

◇上市町「上市町ペレットストーブ導入促進事業補助金」

<https://www.town.kamiichi.toyama.jp/page/1591.html>

◇富山市「令和5年度富山市省エネルギー機器等導入補助事業」

https://www.city.toyama.lg.jp/res/projects/default_project/page/001/005/156/leafletn.pdf

【石川県】

◇内灘町「令和5年度内灘町新エネルギー・省エネルギーシステム設置費補助金」

<https://www.town.uchinada.lg.jp/soshiki/jumin/2917.html>

◇金沢市「令和5年度創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助制度」

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyoseisakuka/gyomuannai/ondanka/hojokin/7434.html>

◇白山市「白山市再生可能エネルギー設備設置事業費補助金」

<https://www.city.hakusan.lg.jp/seikatsu/kankyo/1001759/1001773/index.html>

【山梨県】

◇忍野村「忍野村木質ペレットストーブ設置費補助金」

https://www.vill.oshino.lg.jp/docs/2015042800011/files/peret_tosutobuhojokinyoko.pdf

◆甲州市「住宅環境創エネ・省エネ・蓄エネ設備の設置費補助金」

<https://www.city.koshu.yamanashi.jp/docs/2022032900026/>

◇富士吉田市「富士吉田市再生可能エネルギー設備設置費補助」

<https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/info/191>

◇北杜市「北杜市再生可能エネルギー設備設置費に対する補助金（令和5年度）」

<https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/18888.html>

◆山梨市「令和5年度木質バイオマス資源活用補助金」

<https://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/citizen/docs/160904>

[5.html](#)

【長野県】

◇朝日村「新エネルギー普及促進事業補助金」

https://www.vill.asahi.nagano.jp/official/soshikikarasagasu/kensetsukankyoka/jogesuidotanto/1_1/3/495.html

◆伊那市「伊那市山林資源活用機器設置補助金」

http://www.inacity.jp/kurashi/kankyo_keikan/kankyo_news/juuten-taisaku.html

※4月下旬募集開始予定

◇上田市「薪ストーブ購入補助制度」

<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/sinrin/1354.html>

※対象は薪ストーブ

◆大町市「森のエネルギー推進事業補助金（令和5年度）」

<https://www.city.omachi.nagano.jp/00010000/doc/00010200/0000004.html>

※5月26日(金)までに手続き要

◇駒ヶ根市「えがおポイント制度」

https://www.city.komagane.nagano.jp/soshikiichiran/seikatsukan_kyoka/kanyohozengakari/1/2/1605.html

◆佐久市「令和5年度佐久市木質バイオマス熱利用設備導入事業補助金」

https://www.city.saku.nagano.jp/kurashi/kankyo_kogai/ondankat_aisaku/hojo/pelletstoveetc/h27mokushitsubio.html

※7月頃募集開始予定

◆塩尻市「塩尻市木質バイオマス利用設備設置費等補助金」

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/30/2997.html>

※薪ストーブは4月3日から、ペレットストーブ、ペレットボイラは8月1日から申請受付

◆諏訪市「諏訪市木質バイオマス循環利用普及促進事業補助金」

<https://www.city.suwa.lg.jp/uploaded/attachment/38072.pdf>

◇東御市「木質バイオマスストーブ設置補助事業」
<https://www.city.tomi.nagano.jp/category/joseijigyou/154781.html>

◇長野県「令和5年度信州健康ゼロエネ住宅助成金」
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kenkozeroene/joseikin.html>

◇松本市「松本市薪ストーブ等購入事業補助金」
<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/74/3177.html>
※対象は薪ストーブおよびハイブリッドストーブ（薪・ペレット兼用ストーブ）

◇山ノ内町「山ノ内町ペレットストーブ等設置事業補助金」
https://www.town.yamanouchi.nagano.jp/soshiki/kochirinmu/gyomu/nogyo_ringyo_suisan/ringyo/855.html

【岐阜県】

◇中津川市「中津川市ゼロカーボンシティ推進補助制度」
<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyosaisakuka/3/1/2/2130.html>

【京都府】

◇井手町「薪ストーブ等設置費補助金」
<https://www.town.ide.kyoto.jp/soshiki/sangyoukankyou/shinseitetuduki/1394180580138.html>

◇亀岡市「薪ストーブおよび木質ペレットストーブ購入補助金」
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/30/3644.html>

◆京丹波町「京丹波町薪ストーブ等購入補助金事業」
<https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/kakukakarasagasu/norinshinkoka/gyomuannai/1/1/2/2037.html>

※対象は薪ストーブ、薪ボイラ

◇長岡京市「COOL CHOICE 実践補助金」
<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000010968.html>

※対象は薪ストーブ

◇南丹市「薪ストーブ及び木質ペレット購入助成事業」
https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/life/114/004/000/index_10647.html

【大阪府】

◇高槻市「令和5年度エコハウス補助金」
<https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/25/1909.html>

【兵庫県】

◇宍粟市「2023年度宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業」
<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/sangyo/rinngyousinnkou/tantoujyohou/shinenerugi/1515743370997.html>

◆宍粟市「宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業補助金」
<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/sangyo/rinngyousinnkou/tantoujyohou/shinenerugi/1515744479193.html>

◇丹波篠山市「令和5年度【前期】薪ストーブ等設置補助金」
https://www.city.tambasayama.lg.jp/soshikikarasagasu/nomiyakokankyoka/earth/r5_woodstove.html

◆豊岡市「2023年度豊岡市木質バイオマス利用機器導入促進事業補助金（市民向け）」
<https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/gomikankyo/1019255/1019260/1019261/1025488.html>

◆豊岡市「2023年度豊岡市木質バイオマス利用機器導入促進事業補助金（事業所向け）」
<https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/gomikankyo/1019255/1019260/1019262/1025503.html>

【鳥取県】

◇北栄町「令和5年度北栄町創エネルギー等設備設置費補助金」
<https://www.e-hokuei.net/1833.htm>

◇三朝町「三朝町住宅用太陽光発電システム等設置費補助金（令和5年度）」
<http://www.town.misasa.tottori.jp/315/319/324/764/3726.html>

【島根県】

◇出雲市「令和5年度出雲市再生可能エネルギー設備等導入補助金」

<https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1665750354587/index.html>

◆隠岐の島町「木質ペレット熱利用設備設置事業補助金」

<https://www.town.okinoshima.shimane.jp/www/contents/1681093187578/index.html>

◇浜田市「令和5年度再生可能エネルギー設備導入支援事業補助金」

<https://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1649122425996/index.html>

【岡山県】

◇新庄村「新庄村家庭の省エネ対策事業補助金」

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/343660.pdf>

◇西粟倉村「低炭素なむらづくり推進施設設置補助金」

<https://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/wp/%E4%BD%8E%E7%82%AD%E7%B4%A0%E3%81%AA%E3%82%80%E3%82%89%E3%81%A5%E3%81%8F%E3%82%8A%E6%8E%A8%E9%80%B2%E6%96%BD%E8%A8%AD%E8%A8%AD%E7%BD%AE%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E9%87%91%E3%81%AE%E5%88%B6%E5%BA%A6/>

[A5%E3%81%8F%E3%82%8A%E6%8E%A8%E9%80%B2%E6%96%BD%E8%A8%AD%E8%A8%AD%E7%BD%AE%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E9%87%91%E3%81%AE%E5%88%B6%E5%BA%A6/](https://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/wp/%E4%BD%8E%E7%82%AD%E7%B4%A0%E3%81%AA%E3%82%80%E3%82%89%E3%81%A5%E3%81%8F%E3%82%8A%E6%8E%A8%E9%80%B2%E6%96%BD%E8%A8%AD%E8%A8%AD%E7%BD%AE%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E9%87%91%E3%81%AE%E5%88%B6%E5%BA%A6/)

◆真庭市「真庭市木質バイオマス利用開発推進事業補助金」

https://www.city.maniwa.lg.jp/uploaded/life/26451_187699_misc.pdf

【広島県】

◇東広島市「令和5年度薪・木質ペレットストーブ設置補助金」

<https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/material/files/group/38/505041302.pdf>

【愛媛県】

◆内子町「令和5年度地球温暖化対策設備導入事業補助金」

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/10/132655.html>

【熊本県】

◆山都町「令和5年度住宅用薪ストーブ等設置費補助金」

<https://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/kiji0038201/index.html>

6. 公募等情報（締切順）

■（一財）自然環境研究センター「公益信託富士フィルム・グリーンファンド(活動助成・研究助成)」

応募締切 2023年5月8日(月)

http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/fgf_ken.htm

■伊那谷フォレストカレッジ「伊那谷フォレストカレッジ2023 第4期受講生募集のお知らせ」

受付期間 2023年4月14日(金)～5月9日(火)

<https://forestcollege.net/2023-recruitment/>

■北海道「環境・エネルギー産業総合支援事業(開発支援事業)」(令和5年度)

募集期限 2023年5月19日(金)

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/148193.html>

■林野庁「森林×脱炭素チャレンジ2023」参加者募集

応募者登録機関 2023年3月1日(水)～5月26日(金)

応募様式等提出期間 2023年3月1日(水)～5月31日(水)

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/forest_co2_challenge/2023.html

■（一社）環境技術普及促進協会「令和4年度(補正予算)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業(2)

新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業に係る公募」

二次公募：2023年5月19日(金)～6月15日(木)

http://www.eta.or.jp/offering/23_01_netsu/230317.php

■農林中央金庫「『農中森力（もりぢから）基金』第10回助成事業の募集について」

募集期間 2023年4月3日（月）～6月30日（金）

<https://www.nochutb.co.jp/csr/index.html>

■（公社）日本フィランソロピー協会「SDGs貢献プロジェクト」

受付 年2回（6月1～30日、12月1～31日）の期間内

<https://www.philanthropy.or.jp/jt/>

■長野県塩尻市「塩尻市木質バイオマス利用設備設置費等補助金（ペレットストーブ、ペレットボイラー用燃料）」

申請書受付期間 2023年4月3日（月）～2024年3月15日（金）

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/30/2997.html>

■兵庫県宍粟市「宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業補助金（木質バイオマス燃料製造設備導入費用助成）」

受付期間 2023年4月3日（月）～2024年3月15日（金）

<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/sangyo/rinngyousinnkou/tan-ntoujyouhou/shinenerugi/1515747696234.html>

■農水省大臣官房環境バイオマス政策課「農林漁業バイオ燃料法に基づく事業計画、支援措置（固定資産税の特例等）」

固定資産税の特例の適用期限 ～2024年3月31日（日）まで

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

■長野県松本市「松本市再生可能エネルギー導入支援事業補助金」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4407.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸木質バイオマス暖房機等設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■滋賀県甲賀市「再生可能エネルギー地域導入促進事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/6567.htm>

■滋賀県甲賀市「甲賀市公共施設等再生可能エネルギー導入事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/7406.htm>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyuu/ondanka/syoutene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html

※融資制度

■神奈川県横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■富山県「脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）」

<https://www.pref.toyama.jp/1300/sangyou/shoukoukensetsu/shoukougyou/kj00012293/kj00012293-008-01.html>

※融資制度

■富山県「富山県中小企業脱炭素社会推進資金環境施設整備枠融資制度」

<https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/kankyou/kj00006264.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>

■（独）農林漁業信用基金「新たに林業・木材産業の事業を立ち上げる方（新たに開始する方、他産業から参入する方）への支援について（林業・木材産業の創業等支援保証）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214551.html>

■（独）農林漁業信用基金「林業・木材産業の複合経営を行う方への支援について（林業・木材産業複合経営化支援保証）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214150.html>

■福島県「令和5年度福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金（地域活用型再生可能エネルギー導入支援事業）について」【公募予告】

公募期間 2023年4月～7月頃（予定）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/katsuyo-r5.html>

■NEDO 2023年度『木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業』に係る公募について【予告】

公募開始予定日 2023年5月上旬

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100372.html